

利用年月日	開催行事名	主催 (利用者)	
39.2.15	研究協議会	県教育調査研究所	河野利作
39.2.26	"	"	"
39.3.3~3.4	学力診断打合せ	"	"
39.3.16	研究協議会	"	"
39.3.17	"	"	"
39.3.23~3.31	教育統計調査	"	"
毎週木曜日	近世史研究会	福島大学学芸学部	小林清治

第3 読書室

38.5.31 毎週第3金曜日	福大経済学部大学祭レコードコンサート ステレオ・レコード・コンサート 4月19日 5月17日 6月21日 7月19日 9月20日 10月18日 11月15日 12月20日 1月17日 2月21日	福大経済学部独語研究会 佐藤博 県立図書館
--------------------	---	--------------------------

第2節 整理事務

1 資料の収集

(1) 購入図書

- ① 昭和37年1カ年間に全国で出版された図書の総点数は、新刊、重版をを合わせて22,010点で、38年もほぼこれに近い図書が出版されているものと思われる。当館で38年度に購入した図書の総数は、6,053冊で、そのうち本館に備えつける館内奉仕用図書は、2,228冊で、これは全国の出版点数のほぼ10%にすぎない。

限られた図書費を以って全分野にわたって網羅的に資料を収集することは不可能なことで、図書費が少なければ少ないほど、ぼう大な出版物の中から適切な図書を選択し、蔵書構成の適正を期することが重要となってくる。それで年度当初館内に選書委員会を設置し、9人の司書が毎週金曜日に集まって、情報の提供及び調査、研究に必要な基本的資料に重点をおいて選択にあたった。

- ② 一方、移動図書館、巡回文庫、貸出文庫に使用する館外奉仕用図書については、市内各層から10名の図書選定委員を委嘱して毎月定例会を開いて、主として青年、婦人層で組織する読書グループに提供する一般教養と趣味娯楽を主とする図書の選択にあたった。
- ③ 最近の図書館界のすう勢として、各館が独自の立場で資料を収集し適正な蔵書構成と充実をはかることは困難なことなので、特定の地域の図書館が協力して蔵書の総合的計画をたて、重点的に資料の分担収集をはかることが必要とされてきた。このことから全国の研究会が神戸市において開かれ、「蔵書計画の策定」について討議された。全国では、東京都、神奈川県、北九州市などで計画がすすめられている。

(2) 寄贈図書

官公庁および各種団体からの報告、統計書、各会社からの社史、研究、宣伝、紹介物、それから大学、研究所からの研究紀要、また個人の自費出版物、伝記など、当館に寄贈される出版物は年毎に増加しているが、本年度は図書798冊、雑誌167種、新聞34種、公報22種、その他パンフレット、リーフレット等多数。

特に福島民報社は、発刊25,000号を記念して全国の出版社に献本運動を展開して、県立図書館の充実に協力され、22の出版社より102,640円相当の図書259冊を寄贈された。

昭和38年年間増加冊数(分類別)

	購入	寄贈	編入	計
館内奉仕用				
総記	144	91	133	368
哲学	93	6	1	100
歴史	257	63	47	367
社会科学	329	175	140	644
自然科学	97	31	24	152
工学・工業	75	55	56	186
産業	71	93	57	221
芸術	150	11	45	206
語学	74	1	4	79
文学	731	12	35	778
児童	207	—	—	207
小計	2,228	538	542	3,308
館外奉仕用	3,825	1		3,826
計	6,053	539	542	7,134

(3) 郷土資料 —特に地方行政資料の収集—

年々、当館においては重点施策の一つとして、郷土資